

Q. 1 『よい授業』とは、どんな授業なのか。

A. 『よい授業』とは、一言で言えば、子どもが「わかった!」「できた!」という達成感を得られる授業と言えます。

子どもは、「学ぶ内容が面白い」「学ぶ活動が面白い」と感じたり、「学んだことが活かせる喜び」を味わったりしたいのです。このような子どもの思いをかなえることが教師の役目と言えるでしょう。

そのためには、子どもの思いを大事にしながら、子どもの知的好奇心をくすぐったり、学んだことを生かしたりするような授業展開を図っていくことが必要です。

子どもたちが意欲的で、主体的に学ぼうとしている授業が望ましい授業の姿であると言えるでしょう。もちろん、教師主導で授業を進めることも必要な場合がありますが、子どもが学習の見通しをもって進めていけるようにすることも大切なのです。

『よい授業』となるための条件として、以下に6項目を挙げました。当然、ここに示した項目以外にも条件となり得る要素は考えられると思いますが、まずは、6つのことを参考にして、実践されてはどうでしょうか。

#### ○『よい授業』で求められる条件

##### ◇指導のねらいがはっきりしていること

授業を行う上で、「何のために教えるのか」「どんな力を付けたいのか」ということを明確にしておくことが大切です。授業を組み立てていく際に、『指導方法』に意識が向いてしまい、大切な『指導目標』や『指導内容』が疎かになってしまうことがあります。そこで、まず、「付けたい力は何か」という指導目標を設定し、目標を達成させるためにはどのような教材を使って、どのような内容を指導すればよいのかを考えます。そして、どのような方法で指導していくのかということ計画していくのです。

##### ◇学習課題が子どものもものになっていること

子ども一人一人の考えを大切にし、単元（題材）の目標に迫っていくために、子どもの実態にあった適切な学習課題を提示することが必要です。学ばせたい内容などの具体的な事例を提示することで、子どもの驚きや疑問が生まれ、そのことが学習課題となることがあります。

##### ◇学習内容や活動の見通しをもたせること

子ども一人一人の問題意識を掘り起こし、多様な考えを生み出すために、学習の流れが明確でわかりやすく、子どもの意識に沿った学習活動や学習内容が無理なく計画されていることが大切です。

##### ◇子どもへの支援が適切であること

授業の中では、一人一人の子どもの理解度や活動の進度に差が生まれるものです。子どもが「わかった!」「できた!」という達成感を得られるようにするために、子どもの関心・意欲を高めたり、思考させたり、表現させたりする際には、個々の理解度や学習進度を考慮した支援が必要です。

##### ◇子どもの学ぶ意欲を高めていること

各教科等の学習では、子どもに知識・技能を身に付けさせるとともに、自ら学

ぶ力をはぐくんでいくことが大切です。子どもが自ら課題を見つけ、自分の考えをもって、課題を解決していくための力を付けていかなければなりません。例えば、子どもからいろいろな意見を引き出し、話し合いなどをうまく活用することで学ぶ意欲を高めることができます。

#### ◇学習評価が適切であること

教師が自分自身の授業の在り方を見直したり、個に応じた指導を行ったりするために、子どもが学習内容を理解する過程はどうであったのか、どの程度の知識を得ることができたのかなどをしっかりとらえておく必要があります。子ども一人一人の進歩の状況などを適切に評価し、その後の学習を支援する上で、有効に役立てていかなければいけません。

#### ○具体的な手立て

『よい授業』を行うための具体的な手立てとして、下のような項を示し、この後のページで解説します。

「1時間をどう構成するのか」【Q. 2】【Q. 3】  
「教材研究をどのようにするのか」【Q. 4】  
「授業に生きる学習指導案をどのように書くのか」【Q. 5】  
「学習評価をどのようにするのか」【Q. 6】【Q. 7】  
「発問をどう構成するのか」【Q. 10】  
「話し合いをどう効果的に進めるのか」【Q. 11】  
「子どもの発言をどう取り上げるのか」【Q. 11】  
「机間指導をどのようにするのか」【Q. 12】  
「板書をどう組み立てるのか」【Q. 13】  
「ノート・ワークシートの活用をどのようにするのか」【Q. 14】【Q. 15】  
「どの場面で小集団学習を生かすのか」【Q. 16】  
「学習環境をどのように整えるのか」【Q. 18】 など

#### ○教師にとって大切なこと

教師は、『よい授業』を実現するために日々研鑽していかなければなりません。学校では、学習指導が学校教育の大部分を占めていますので、学習指導を通しての人間形成が教師にとっての大切な仕事になってきます。そのためには、子どもとしっかり向き合い、子どもを温かく見守っていく姿勢を大切にしたいものです。

